

## あらためて核抑止論，軍事同盟強化，憲法9条改定に反対する

核兵器廃絶と被爆補償を求める世界の世論と運動は，核抑止力の思想に縛られてきた核超大国をも動かしつつある．いまや，人類は核兵器を廃絶し，平和な世界を実現するかつてない機会を迎えている．

オバマ米国大統領は「米国は核兵器のない，平和で安全な世界を追求していく」「核兵器を使用したことのある唯一の核兵器国として，米国は行動する道義的責任がある」と表明した．また，ミリバンド英国外相も「核抑止力によってカバーされているすべての人々に，彼らの安全が核兵器に頼るよりも核兵器のない世界においてより強まるであろうということの確信を与える条件の創造こそが必要である」と述べている．次の核不拡散条約再検討会議（2010年5月）に向けた準備会では，ブッシュ政権が復古にした「核兵器廃絶の明確な約束」の再確認を議題にし，さらに「地球的核軍縮を達成する国際的法的枠組みの確立」という核兵器廃絶に通じる文案が用意されるまでに至った．

このような動きを前進させるために，世界世論の高揚が不可欠である．唯一の被爆国として平和憲法や非核三原則を有しながら，米国の世界戦略に貢献する日米軍事同盟強化を推進してきた日本が，いま核のある世界とない世界のどちらを選ぶのか，日本の世論や政府の行動が世界に与える影響は重大である．私たちは，日本政府が核兵器廃絶の先頭に立つべき使命をいまこそ果たすよう求める．

麻生首相はオバマ大統領の演説を支持する親書の中で「日米安保体制下で核抑止力を含む拡大抑止は重要」と述べ，引き続き「核の傘」の提供を求めた．中曽根弘文外相も「ゼロへの条件 世界的核軍縮のための11の指標」の中で同様の発言をした．また，日本政府は米国の核持ち込みを黙認し，日米軍事同盟の再編強化，すなわち，従来型より大幅に攻撃力に勝る原子力空母の横須賀母港化，米海兵隊のグアムへの「移転」と新基地建設の費用負担，ソマリア沖への自衛隊派遣とこれを恒久化する派兵法案の準備，憲法9条改定を最大の目的とする改憲のための憲法審査会始動の準備などを進めている．「ミサイル防衛」計画の推進は北東アジアに新たな緊張をもたらすものであり，また経済軍事化の端緒となる恐れがある．さらに，宇宙基本計画など，学術の軍事動員も具体化している．私たちは憲法に背反するこれらの政策に強く反対する．

日本の安全保障には，日本国憲法前文の規定と精神を活かして日本の周辺諸国相互の信頼関係と協力関係を強化すること，東南アジア友好協力条約に基づく平和の枠組みづくりに協力することが肝要である．私たちは，5月25日の北朝鮮による核実験に厳しく抗議する．同時に，核を含む圧倒的な軍事力で突出している日米軍事同盟の再編強化こそが，こうした北朝鮮の無謀な政策や中国の兵力強化を招いていることも指摘しなければならない．その意味で日米軍事同盟はアジアの大きな不安定要因として，日本の国際的孤立を深め，安全保障をかえって危うくするものである．私たちはあらためて核抑止論，軍事同盟強化路線からの脱却を求め，9条の擁護とそれに基づく積極的な平和政策を求める．

日本科学者会議は，平和主義に基づく憲法を守り，被爆の実相を明らかにする取り組みなどを通じ，科学者としての役割と社会的責任を果たすよう尽力してきた．また，核兵器廃絶や軍事同盟の解体は，人類と地上の生命が直面している地球温暖化，環境破壊，飢餓と貧困に立ち向かい，科学と技術の成果を人類の福祉に役立てるといふ私たち科学者の悲願を実現するための絶対の前提であると考え．いま展望が開けつつある核兵器廃絶を実現する取り組みに力を合わせるよう，すべての科学者・市民，政府に訴えるものである．